

調査結果（詳細）

本調査結果では、以下のとおり施設の種別に略称を使います。

施設の種別	本調査票での略称
介護老人福祉施設	特 養
介護老人保健施設	老 健
介護療養型医療施設	療養型
短期入所生活介護事業所（単独型）	短期生活
認知症対応型共同生活介護事業所	認知症対応
特定施設入所者生活介護事業所	特定施設
有料老人ホーム	有 料
軽費老人ホーム	軽 費
養護老人ホーム	養 護

1 調査対象及び回収率等

対象となる介護保険施設等では、799 施設のうち、748 施設から回答があり、回収率は 93.6%となっている。

その他の高齢者施設では、対象121施設のうち、119施設から回答があり、回収率は98.3%。高齢者施設全体では、対象施設920施設のうち867施設から回答があり回収率は94.2%となっている。(平成18年7月調査の回収率62.4%)

		平成19年2月調査			平成18年7月調査		
施設の種別		対象数	回収数	回収率	対象数	回収数	回収率
介護保険施設等	特 養	204	200	98.0%	196	140	71.4%
	老 健	124	117	94.4%	121	77	63.6%
	療 養 型	59	53	89.8%	64	34	53.1%
	短期生活	32	29	90.6%	25	8	32.0%
	認知症対応	268	247	92.2%	254	149	58.7%
	特定施設	112	102	91.1%	88	59	67.0%
	小 計	799	748	93.6%	748	467	62.4%
高上 記 者 以 外 設 の	有 料	13	12	92.3%			
	軽 費	92	91	98.9%			
	養 護	16	16	100.0%			
	小 計	121	119	98.3%			
対象施設合計		920	867	94.2%			

※併設型の短期入所生活介護については、本体施設である介護老人福祉施設等を含む。

2 定員及び入所者数（平成19年2月1日現在）

		定員（人）	入所者数
介護保険施設等	特 養	15,696	14,732
	老 健	11,536	10,651
	療 養 型	2,978	2,787
	短期生活	641	376
	認知症対応	3,617	3,307
	特定施設	8,082	5,868
	小 計	42,550	37,721
高上 記 者 以 外 設 の	有料	814	462
	軽費	3,850	3,567
	養護	985	891
	小 計	5,649	4,920
対象施設合計		48,199	42,641

3 身体拘束を行っている施設・人員

介護保険施設等の割合では、特養が最も高く認知症対応が最も低くなっている（(1)表）。
 人員の割合では、療養型が最も高く短期生活（単独型）が最も低くなっている（(2)表）。

介護保険施設等全体では、回答のあった748施設のうち338施設45.25%で身体拘束が行われている。その人数は2,520人で入所者の6.5%となっており、そのうち10.3%が例外3原則に該当していなかった（(3)表）。

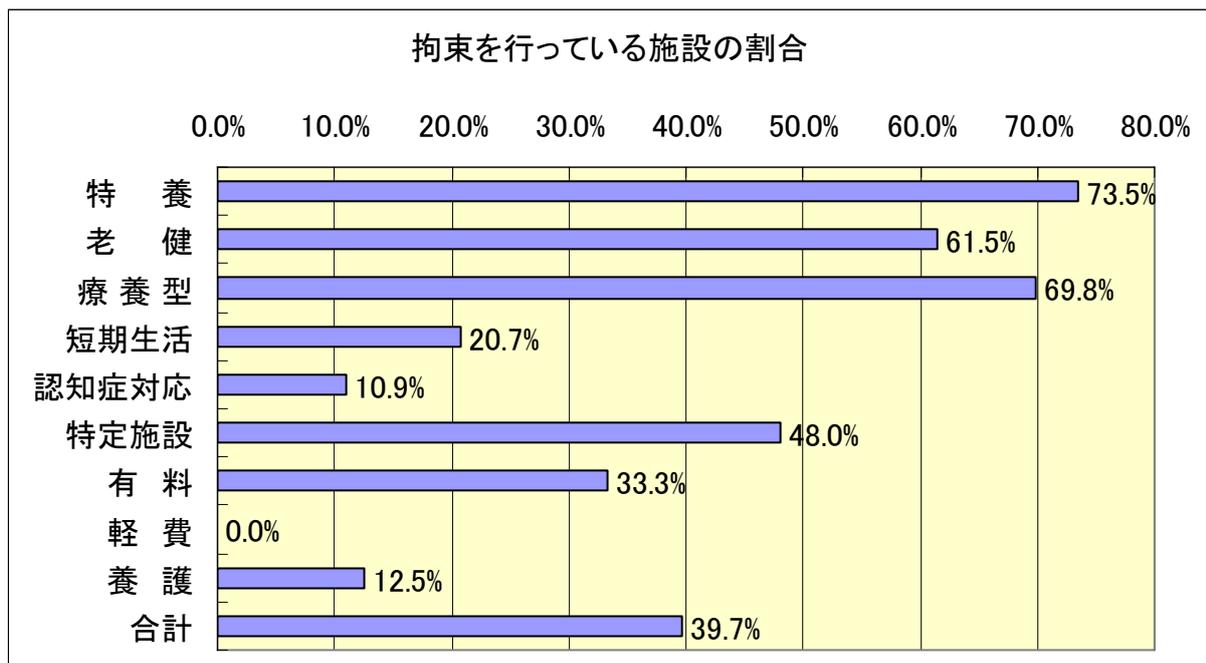
また、平成18年7月の前回調査と比較すると、施設の割合では、前回調査の52.5%に対し今回調査は45.2%と7.3ポイント減少している。

人数の割合では、前回調査の8.8%に対し今回調査は6.5%と2.3ポイント減少している。更に、例外3原則に該当しない人数の割合も、前回調査の28.0%に対し今回調査は10.3%と17.7ポイント減少している。

(1) 拘束を行っている施設の割合

	平成19年2月調査			平成18年7月調査		
	回答のあった施設	拘束を行っている施設	割合	回答のあった施設	拘束を行っている施設	割合
特 養	200	147	73.5%	140	108	77.1%
老 健	117	72	61.5%	77	52	67.5%
療 養 型	53	37	69.8%	34	23	67.6%
短期生活	29	6	20.7%	8	2	25.0%
認知症対応	247	27	10.9%	149	33	22.1%
特定施設	102	49	48.0%	59	27	45.8%
小 計・・・①	748	338	45.2%	467	245	52.5%
有 料	12	4	33.3%			
軽 費	91	0	0.0%			
養 護	16	2	12.5%			
小 計・・・②	119	6	5.0%			
合計（①+②）	867	344	39.7%			

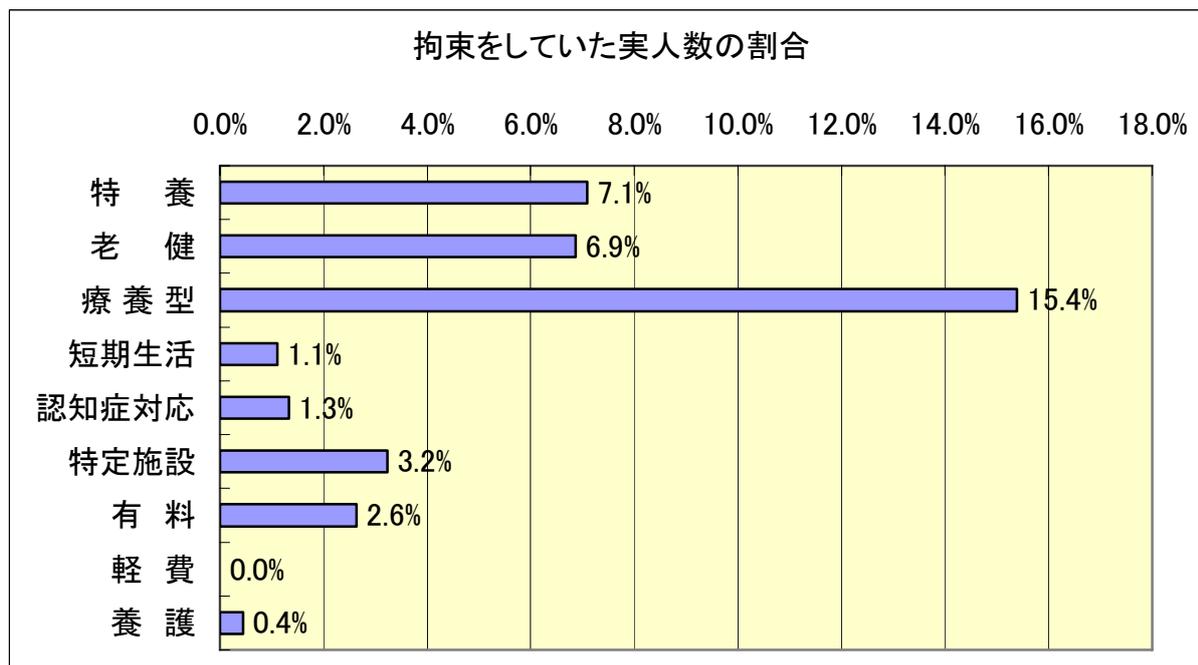
(拘束施設の割合 = 拘束を行っている施設 ÷ 回答のあった施設)



(2) 拘束をしていた人数の割合

	平成19年2月調査			平成18年7月調査		
	2月1日～7日 の入所実人数	拘束をしてい た実人数	割 合	18年7月中の 入所実人数	拘束をしてい た実人数	割 合
特 養	15,224	1,080	7.1%	10,153	970	9.6%
老 健	11,045	759	6.9%	7,116	551	7.7%
療 養 型	2,852	439	15.4%	1,925	389	20.2%
短期生活	629	7	1.1%	135	2	1.5%
認知症対応	3,317	44	1.3%	1,952	69	3.5%
特定施設	5,897	191	3.2%	3,712	212	5.7%
小 計・・・①	38,964	2,520	6.5%	24,993	2,193	8.8%
有 料	492	13	2.6%			
軽 費	3,711	0	0.0%			
養 護	889	4	0.4%			
小 計・・・②	5,092	17	0.3%			
合計(①+②)	44,056	2,537	5.8%			

(拘束対象者の割合 = 拘束をしていた実人数 ÷ 入所者実人数)



(3) 拘束をしていた人のうち認知症の人数

	平成19年2月調査		
	拘束をしていた実人数	うち認知症の人数	割合
特 養	1,080	1,000	92.6%
老 健	759	660	87.0%
療 養 型	439	419	95.4%
短期生活	7	6	85.7%
認知症対応	44	44	100.0%
特定施設	191	166	86.9%
小 計・・・①	2,520	2295	91.1%
有 料	13	12	92.3%
軽 費	0	0	0.0%
養 護	4	3	75.0%
小 計・・・②	17	15	88.2%
合計 (①+②)	2,537	2,310	91.1%

(4) 拘束をしていた人のうち例外3原則に該当しない人数

	平成19年2月調査			平成18年7月調査		
	拘束をしていた実人数	内例外3原則に該当しない	割合	拘束をしていた実人数	内例外3原則に該当しない	割合
特 養	1,080	112	10.4%	970	254	26.2%
老 健	759	99	13.0%	551	89	16.2%
療 養 型	439	18	4.1%	389	143	36.8%
短期生活	7	0	0.0%	2	1	50.0%
認知症対応	44	4	9.1%	69	30	43.5%
特定施設	191	27	14.1%	212	96	45.3%
小 計・・・①	2,520	260	10.3%	2,193	613	28.0%
有 料	13	0	0.0%			
軽 費	0	0	0.0%			
養 護	4	0	0.0%			
小 計・・・②	17	0	0.0%			
合計 (①+②)	2,537	260	10.2%			

※例外3原則とは、緊急やむを得ない場合に例外的に身体拘束を行う場合の要件のこと。

(①切迫性、②非代替性、③一時性の3つの要件を満たし、かつ、それらの要件の確認等の手続きが極めて慎重に実施されているケースに限られること)

(参考)

- ①切迫性・・・利用者本人または他の利用者等の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと
- ②非代替性・・・身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がないこと
- ③一時性・・・身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること

調査対象期間

- (1)平成18年7月調査……(平成18年7月1日～7月31日)
- (2)平成19年2月調査……(平成19年2月1日～2月7日)

(5) 拘束率について

事業所別で拘束率が0%の施設は、認知症対応型が最も多く220施設（247施設中）89.1%、次いで短期生活の23施設（29施設中）79.3%となっている。

また、拘束率が20%を超える施設の割合が最も多いのは療養型の15施設（53施設中）28.3%であった。前回平成18年7月調査に比較すると0%及び0%超～5%未満の施設の割合が増加している。

	特養	老健	療養型	短期生活	認知症対応	特定施設	合計	割合	18年7月調査	
									合計	割合
0%	53	45	16	23	220	53	410	54.8%	222	47.5%
0%超～5%未満	72	26	3	5	0	24	130	17.4%	72	15.4%
5%以上～10%未満	27	21	8	0	11	10	77	10.3%	54	11.6%
10%以上～15%未満	18	7	6	1	10	6	48	6.4%	35	7.5%
15%以上～20%未満	12	4	5	0	2	4	27	3.6%	19	4.1%
20%以上～	18	14	15	0	4	5	56	7.5%	65	13.9%
合計	200	117	53	29	247	102	748		467	

